

制度が変わっても現場で することは変わらない！

第3弾

宅老所の本質を考える会 関西

2016年

4月17日

13:00～17:00 (日)

新大阪丸ビル 新館609号室

大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-27 電話：06-6321-1516

定員

先着60名

参加費

1人1,000円

●自分たちがしていることは本人支援になっているか。

宅老所の本質とは何か——それはよく分かりません。でも、宅老所（の職員）が行う介護や支援のカタチがどうかということよりも、宅老所という「場」でおとしよりが主体的存在であるかが大切であることは分かります。「宅老所の作為」よりも「おとしよりの主体」という感じでしょうか。問題が「本人の主体」にあるのなら、宅老所・デイ・サロン、グループホーム・特養といったカタチの違いにはほとんど意味がなさそうです。

介護保険をはじめとした制度が勝手に変わっていつてしまっています。それに事業者としてどう対応するかを考えることも必要なことですが、でもまず自分たちが「その人を支える」ことができているのかを振りかえってみることも大切じゃないかと思えます。果たして私たちは、「おとしよりの自宅での生活」を支えるのに何か意味をもっているのでしょうか。案外、おとしよりががんばっているのであって、私たちは何の意味も持っていないかも知れません。——そんなことを考えてみたいと思えます。

この集まりをとっかかりとして、在宅での本人支援・地域支援のあり方を制度・福祉のからでではなく、おとしより本人の視点からいろいろと考えていけるような「場」をつくっていきたいと思っています。

当日の主な流れ

12:30

開場・受付開始

13:00

開会・あいさつ

13:05

事例報告・問題提起

自宅での生活を支える介護（サービス）のあり方を考える
～自宅で生きるのに一番がんばっているのは誰か

楠神 渉さん

(NPO 法人 加楽／滋賀県東近江市)

彌重 卓志さん

(小規模多機能みつぎの里／大阪市)

(14:20 小休止)

14:30

グループ討論・まとめ

16:25

閉会・あいさつ

懇親会を開催します

セミナー終了後、17時から
会場の近くにて懇親会を開催します。
皆様のご参加お待ちしております。
（会費 4,000円程度）



お申込み、お問合せ

お申込みは4月10日までに、
「グループホームはなのいえ」（担当：高田）まで
お申込みください。

電話 079-228-2828

F A X 079-228-2826

申込みは、セミナー参加申込書にご記入の上、お申込みください。

申込締切

4月10日